

平成 23 年度 普及に移す農業技術（第 1 回）

- [分類] 普及技術  
 [成果名] 移植水稻用初中期除草剤トップガンGT1キログラム剤51は水田雑草防除に有効である  
 [要約] 移植水稻用初中期除草剤トップガンGT1キログラム剤51を移植後5日から9日までに1kg/10aを処理することで効果的な水田雑草防除が可能である。  
 [担当] 農業技術課  
 [部会] 作物部会

1 背景・ねらい

省力的で効果の高い水稻用初中期除草剤の実用性を検討し、新しく利用できる剤として情報提供する。

2 成果の内容・特徴

(1) 移植水稻用初中期除草剤トップガンGT1キログラム剤51を移植後5日から9日までに1kg/10aを湛水処理する。

農薬登録内容

[一般名および成分含有量] ピリミノバックメチル 0.45%、プロモブチド 9.0%、ベンスルフロンメチル 0.75%、ペントキサゾン 2.0%

[毒性] 人畜毒性：毒物、劇物には該当しない

[魚毒性]：ピリミノバックメチルA類、プロモブチドA類、ベンスルフロンメチルA類、ペントキサゾンB類

[対象作物に対する適用登録状況]（平成 23 年 10 月 12 日現在 J P P - N E T 確認）

作物名	適用雑草名	使用方法	適応土壌	使用時期	10a 当たり 使用量	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草、及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、クログワイ、オモダカ、アオミドロ・藻類による表層はく離	田植同時散布機で施用	砂壤土～ 埴土	移植時	1kg/10a	1回
		湛水散布		移植後5日～ノビエ3葉（ただし、移植後30日まで）		

3 利用上の留意点

(1) 使用上の留意事項は、「農作物病害虫・雑草防除基準（長野県）」の除草剤の使用法（初中期剤）を参照する。

4 対象範囲

県下全域

5 具体的データ

(1) 平成 22 年に上高井郡高山村の現地ほ場で行った試験では、移植後 5 日処理の除草効果は高く（表 1）、移植水稻への薬害は認められなかった。

表 1 トップガンGT1キログラム剤51の雑草防除効果<sup>a)</sup>（平成 23 年、長野農業改良普及セ）

除草剤名	処理時期 <sup>c)</sup>	処理量(/10a)	ノビエ	一年生広葉 <sup>d)</sup>	オモダカ	合計
トップガンGT1キログラム剤51	+5日	1kg	0	0	13	8
無処理	—	—	0.3	0.1	0.6	1.0
(比較) <sup>b)</sup> スパークスター粒剤	+5日	3kg	0	5	13	10
(比較) <sup>b)</sup> 無処理	—	—	0	2.0	3.1	5.1

a) 除草剤各処理区の数値は対無処理比(%), 無処理区は乾物重(g/m<sup>2</sup>)

b) 比較は試験区の隣接ほ場で実施

c) 処理時期の+は移植後日数

d) アゼナ主体

試験方法：試験場所は上高井郡高山村（標高 580m、沖積・埴土）。品種は「あきたこまち」、中苗、機械移植。代かきは 5 月 16 日、移植は 5 月 23 日。1 区 20a、反復なし。

調査方法：6 月 27 日に 50×50cm の枠サンプリングにて、処理区は複数カ所、無処理区は 1 カ所の調査を行った。

(2) 平成 23 年に北安曇郡池田町の現地ほ場で行った試験では、移植後 9 日処理の除草効果は高く (表 2)、移植水稻への薬害は認められなかった。

表 1 トップガンGT1キログラム剤51の雑草防除効果<sup>a)</sup> (平成 23 年、北安曇農業改良普及セ)

除草剤名	処理時期 <sup>c)</sup>	処理量(/10a)	ノビエ	一年生 広葉 <sup>d)</sup>	ホタルイ	オモダカ	合計
トップガンGT1キログラム剤51	+9日	1kg	0	0	0	0	0
無処理	—	—	0.3	0.3	0.5	0.2	1.3
(比較) <sup>b)</sup> 草笛フロアブル	+5日	500ml	—	0	—	0	0
+ピラクロエースフロアブル	→+9日	→500ml	—	0	—	0	0
(比較) <sup>b)</sup> 無処理	—	—	0	1.2	0	0.1	1.3

a)～d)は表1と同じ

試験方法：試験場所は北安曇郡池田町 (標高 640m、灰色低地土・壤土)。品種は「コシヒカリ」、稚苗、機械移植。代かきは5月19日、移植は5月22日。1区20a、反復なし。

調査方法：7月19日に50×50cmの枠サンプリングにて、処理区は複数カ所、無処理区は1カ所の調査を行った。

## 6 特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

県植物防疫協会委託試験 (普及展示ほ)、平成 22、23 年度 (2010、2011 年度)、その他